

# 競 技 注 意 事 項

本大会の競技は、2020年日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項により行う。

## 1. 練習について

ウォーミングアップや練習は、すべて競技場北側の全天候走路を使用することとする。ただし、8:45までは競技場内の練習も可能とする。投てき種目においては、競技前の現地での公式練習のみとする。

## 2. 招集について（競技日程表を参照）

ア. 選手招集場所についてトラックは各スタート場所、フィールドは各ピットで行う。

イ. 招集開始時刻はその競技の開始時刻を基準とし、下記のように定める。

トラック競技・・・15分前に開始し10分前に終了する。

フィールド競技・・・30分前に開始し20分前に終了する。

## 3. 競技について

ア. 危険防止のため、各走者はフィニッシュ後レーンに沿って曲走路を走る。

イ. 本大会のトラック競技はすべて写真判定による電気計時とする。したがってトラック競技出場者は右腰やや後方に、主催者が用意した腰ナンバーカードをつけること。フィニッシュ後はその腰ナンバーカードを役員に必ず返却すること。

ウ. トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の順とする。

エ. ナンバーカード（横22～24cm×縦18～20cm）は太さ2cm程度の明瞭な文字で書きユニフォームの背と胸に付けること。（跳躍競技は背または胸いずれか一方でよい。）なお、テープで加工したり折り曲げたりしたものは不可とする。

オ. リレー種目について

① リレー競走については、競技規則第170条を厳守すること。（オーダーの編成は「リレー競走の2008ルール変更に伴う注意事項」を厳守すること。）

② 同一チームの4名は同一のユニフォームを着用することが望ましい。

③ 各走者は1カ所にかぎり粘着テープをマーカー（テープの大きさは50mm×400mm以内）として使用できる。

④ 各走者はバトンの受け渡しを終えた後は、他の競技者のじゃまにならぬようレーン内にとどまること。

⑤ リレーオーダー用紙は、学校受付で所定の用紙を1チームにつき2部ずつ受け取り招集完了時刻1時間前までに本部記録に提出すること。

カ. 競技規則第162条5項（c）『「位置について（on your marks）」の合図の後、ある競技者が音声その他の方法で他の競技者をじゃまするような場合は不正スタートとみなされる』により、スターターの「位置について（on your marks）」の合図で「お願いします」等のかけ声はかけないこと。

キ. 「不適切なスタート動作（不適切行為）」があった場合は、グリーンカードによる注意を与える。また、同一競技者による注意が多発した場合は、審判長等により警告を与えることがある。（競技規則第162条5項（a）（b）（c））同じ競技者が同じレースの中で2度の警告があった場合は、不正スタートとみなす。不正スタートを行った競技者は1回で失格となる。

ク. 男子三段跳においては、踏切板から砂場までの距離を9m00とする。

## 4. 表彰について

第3位までに入賞した選手は、決勝結果の通告後すみやかに玄関ホールに集合のこと。（表彰には競技服装・運動靴で臨むこと。）他種目を兼ねていて受賞できない場合は代理を立てること。

## 5. 救急医療について

出場選手の競技中の疾病および傷害については、応急の処置は行うがそれ以後の責任は一切負わない。また、大会中の疾病および傷害については、必ず総務に届け出ること。

## 6. バーの上げ方

	種 目	練 習	上 げ 方
男子	走 高 跳	1. 4 0 5 5	1.45-1.50-1.55・・・1.70-1.73 以上3cm
	棒 高 跳	2. 1 0 6 0	2.20-2.30-2.40・・・2.90-3.00 以上10cm
女子	走 高 跳	1. 1 5 3 0	1.20-1.25-1.30-1.35-1.40-1.45 以上3cm

※走高跳、棒高跳の練習は上記のように二段階で実施するので、どちらかを選択すること。

## 7. 大会運営について

- ア. 無観客とする。（参加者については競技者、審判、顧問のみとする。また、補助員は最小限とする。）
- イ. 競技者に対し大会1週間前からの検温を義務付け、指定の体調管理チェックシートを記入して大会当日に提出すること。保護者の承諾の意味も含め、保護者氏名欄に保護者自筆のサインを書き入れること。（提出していない競技者は出場を認めない。）  
また、不確かな競技者がいた場合は、その場で検温を実施し、状況により許可しないこともある。（不確かな競技者とは、一見して体調が悪そうに見える、顔がほてっている、咳、鼻水の症状（風邪の症状）が見られるなど。）
- ウ. テント設置については、大会開催前までに各校より希望をとった上で、主催者が指定した場所に設置すること。
- オ. 主催者で手洗い場やトイレに消毒液を準備するので、こまめに手洗いを行うこと。
- カ. 咳エチケットや飛沫防止のため、審判や顧問、補助員は常時マスクを着用する。競技者は競技中やウォーミングアップ時以外はマスクを着用する。
- キ. 更衣室については、密集を防ぐため入場制限を行う場合がある。（シャワールームの使用は禁止する。）
- ク. ゴミは持ち帰りとする。
- ケ. 競技終了後、すべての箇所や競技用機材等を消毒する。
- コ. 発熱や咳、倦怠感、咽頭痛などがみられる場合は、競技者は出場することはできない。
- サ. 声を出しての応援、集団での応援は行うことはできない。

## 8. その他

- ア. 競技者・競技役員・補助員・大会役員・報道関係者以外の者は競技場内には入らないこと。  
特に競技者の付き添いや応援または記録を測るためなどの理由で入らないこと。また、競技者はトランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で使用しないこと。（第144条により競技者への助力とみなされ失格となる場合がある。）
- イ. 助走マークやリレーマークなどで使用したテープは、確実にはがして持ち帰ること。
- ウ. 貴重品等の管理は各校で十分注意すること。
- エ. 芝生スタンドで、グラウンドシート等を地面に敷くことは禁止とする。
- オ. 芝生にテント等を立てる場合、ロープをバックフェンスにくくるとは禁止とする。バックフェンスを使った横断幕の設置も禁止とする。
- カ. 競技開始前の競技場でのウォーミングアップは1・2レーンを周回レーン、3～8レーンを流し・ダッシュレーン（ただしメインストレートの7・8レーンはハードル専用レーン）とする。  
また、リレーのバトン練習に関してはバックストレートのみとする。